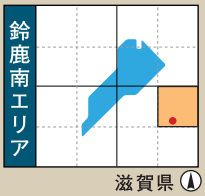
天然記念物

国指定

綿向山麓の接触変質地帯

わたむきさんろく　せっしょくへんしつちたい

日野町北畑　昭和17年9月19指定



私たちの住む地球は、その誕生から気の遠くなるような時間の流れの中で、奇跡のような変化を度々見せてきました。綿向山北西麓にある接触変質地帯にみられる岩石もその一つです。変化しないものの代名詞のような岩の中から、母なる大地のダイナミックな変化を感じ取ることができます。

接触変質地帯

日野町の東にそびえる綿向山のふもとにみられる、接触変質岩の分布する地域です。綿向山に見られる接触変質岩は、古生代に生まれた石灰岩と粘板岩に、中生代末から新生代始めにかけて花崗岩が貫入した際、その膨大な熱エネルギーにより変成した岩石です。石灰岩は熱により大理石化し、その厚みは10mにも及び、この中に、多量の珪灰石を生じる他、ベスブ岩、ヘデンベルグ輝石、石榴石（ガーネット）などの接触鉱物が混じって見られます。接触変成地帯として典型的な鉱物が見られ、また、花崗岩の境界部がはっきりと見られる、地質学的に貴重な地域です。

なお、接触作用を受けたときに断層が生じたらしく、東南方向の熊野谷や、野洲川の白倉谷の一部にも同様の岩石群を見ることができます。



綿向山遠景



接触変質地帯

綿向山について

日野町と土山町の境にある標高1100mの山です。朝日岳、日野岳とも呼ばれ、御在所岳や雨乞岳とともに鈴鹿連峰の主峰となっています。野洲川と日野川の分水界であり、古生層からなる山です。古くから山岳信仰の対象とされ、日野町にある綿向神社奥社が山頂にあり、御神体の山として崇められています。また、植物相の豊かな山としても知られ、ワタムキアザミの群落やブナの原生林も見ることができます。





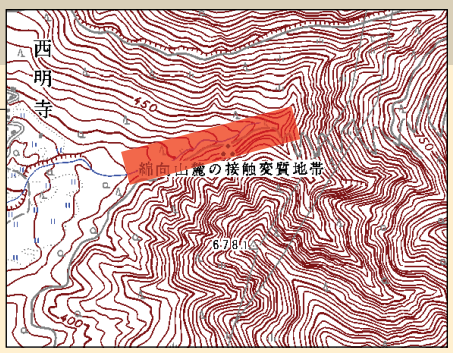
変質鉱物

関連する文化財

石山寺硅灰岩（大津市）	学習シートNo.111
鎌掛の屏風岩（日野町）	学習シートNo.117
別所高師小僧（日野町）	学習シートNo.118

もっと深く知りたい

日野町教育委員会　☎0748-52-6566　蒲生郡日野町河原470



綿向山麓の接触変質地帯へのアクセス

近江鉄道　日野駅下車
名神高速道路　竜王インター

【参考文献】〔日本の天然記念物〕講談社　〔滋賀県天然記念物調査報告〕滋賀県保勝會

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月